

# 人材育成機関の状況

施設概要	学校名	産業技術短期大学校						峡南高等技術専門校		宝石美術専門学校		専門学校農業大学校	
	所管省庁	厚生労働省						厚生労働省		文部科学省		文部科学省	
	根拠法令	職業能力開発促進法						職業能力開発促進法		学校教育法		学校教育法	
	開校年月	平成11年4月			平成25年4月			昭和23年4月		昭和56年4月		昭和45年4月	
	所在地	塩山キャンパス(甲州市)			都留キャンパス(都留市)			富士川町		甲府市		北杜市	
特徴	機械系、電子系、情報系、観光系で即戦力となる技術者を育成する職業能力開発短期大学校						自動車整備士、電気工事士の養成を主眼とする職業能力開発校		山梨のジュエリー産業を担う人材を育成する国内唯一のジュエリーの公立専門学校		・実践力と経営感覚を備えた農業経営者の養成を主眼とする専門学校 ・専攻科では果樹経営のスペシャリストを養成		
学科状況	設置学科	生産技術科	電子技術科	観光ビジネス科	情報技術科	生産技術科	電子技術科	自動車整備科	電気システム科	ジュエリー学科		養成科	専攻科
	現在育成している人材像	・生産技術科(塩山キャンパス・都留キャンパス) 機械工学の基礎をはじめとし、機械設計・機械加工・自動化技術などに対応できる、夢を形にかえる創造的なエンジニア ・電子技術科(塩山キャンパス・都留キャンパス) ハードウェアとソフトウェアに関する能力を併せもった電子工学技術の発展に寄与できる人材 ・観光ビジネス科 ホテルや旅行業、観光産業等で活躍するための専門知識と接客サービスやプレゼンテーション、マーケティングなどの実践的な技術を身に付け、ホスピタリティ精神にあふれたスペシャリスト ・情報技術科 コンピュータシステムを構築するための知識・技術を身につけ、ソフトウェア開発企業において活躍できる技術者						・自動車整備科 最新の検査装置による自動車の点検・調整・整備ができる自動車整備士  ・電気システム科 電力設備に関する基礎理論から電気工事、設備保守ができる電気工事士		日本一のジュエリーの生産地である山梨で培われた伝統を引き継ぎながら、未来へと発展させていけるパワフルな人材		農業の成長産業化や農山村の活性化を促進させるため、「高品質化、販路拡大による儲かる農業の展開」と「活気に満ちあふれた農山村の創造」を実現できる実践力と経営感覚を備えた農業経営者の育成を主眼に、生産から流通・販売までのアグリビジネスの実際を修得させ、これからの山梨県農業・農村を支える人材の育成を図る。	
	期待される職業	機械設計技術者 機械制御技術者 精密加工技術者	組込みエンジニア 電子回路設計技術者 電子機器製造技術者	ホテルマン 旅行業従事者 観光関連産業従事者	ソフトウェア開発技術者 システムエンジニア ネットワーク技術者	機械設計技術者 機械制御技術者 精密加工技術者	組込みエンジニア 電子回路設計技術者 電子機器製造技術者	自動車整備士	電気工事士	ジュエリーメーカーの営業、販売、企画、デザイン、加工等の職		就農 農業法人、農業団体、農業関連企業への就職	
	学位等							国土交通省認定二級自動車整備士	経済産業省認定第二種電気工事士	専門士		専門士	
	課程年数	2年						2年	1年	3年	2年	2年	
	定員数	20名	30名	20名	30名	15名	15名	25名	20名	35名	30名	若干名	
	年間授業時間	1,404時間						1,426時間		990時間		1,200時間	
	総授業時間数	2,808時間/2年						2,852時間/2年	1,426時間/1年	2,970時間/3年		2,400時間/2年	2,400時間/2年
入校状況	定員充足状況	78%	46%	112%	100%	69%	60%	93%	49%	99%	97%	100%	
	出身学科	関連学科	16%	37%	0%	34%	58%	65%	25%	8%	15%	62%	86%
		非関連学科	84%	64%	100%	66%	42%	35%	75%	92%	85%	38%	14%
	新卒既卒	新卒	89%	93%	94%	93%	93%	92%	89%	88%	80%	95%	90%
		既卒(前歴あり)	4%	3%	0%	0%	2%	2%	9%	11%	7%	1%	10%
		既卒(前歴なし)	7%	6%	6%	7%	5%	6%	2%	1%	13%	4%	0%
	出身	県内	98%	100%	100%	98%	100%	100%	100%	100%	57%	93%	86%
県外		2%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	41%	7%	14%	
外国		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	
就職状況	就職率	99%	100%	99%	100%	98%	100%	100%	100%	96%	95%	100%	
	求人倍率(求人総数)	11.8倍(170件)	13.0倍(159件)	4.3倍(79件)	6.7倍(161件)	25.9倍(167件)	26.3倍(155件)	—	—	2.3倍(75件)		17.6倍(429件)	
	県内就職率	94%	91%	78%	74%	98%	90%	86%	96%	62%	94%	80%	
	関連就職率	98%	83%	77%	78%	94%	94%	100%	100%	96%	93%	93%	
学費	授業料	390,000円/年額						118,800円/年額		390,000円/年額		118,800円/年額	
	入学料	169,200円						5,650円		169,200円		5,650円	
その他	その他の教育訓練など	在職者対象: 37コース540人				在職者対象: 23コース535人 求職者対象: 6科10コース170人		在職者対象: 17コース530人 求職者対象: 10科14コース304人		在職者対象: 高度技術専門コース2ヶ月15名		求職者対象: 職業訓練農業科(9ヶ月40名、6ヶ月20名)	
	これまでの取り組み	・平成25年度に都留キャンパス開校						・平成25年度職業訓練施設の再編に伴い建築科を廃止し、電気システム科を都留高等技術専門校から移管 ・平成29年度から自動車整備科の定員を20名から25名へ拡大		・平成25年9月 附属施設「山梨ジュエリーミュージアム」を開設 ・平成27年度から定員(50→35名)、修業年限(2→3年)を変更		・昭和45年4月 農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として開設 ・平成20年4月 学校教育法に基づく専修学校(専門学校)に位置づけ、養成科と専攻科に再編	

※入校状況、就職状況は直近5年間の平均値

# 高校生の進路希望(希望する分野と進路)

「県内高校2年生進路希望等に関する調査」(H29. 2実施)における「問4 将来の就職先や進学先として考えている分野」と「問6 高校卒業後の進路」のそれぞれの第1希望をクロス集計(割合は小数点以下を四捨五入しているため、縦計が100%にならないところもある)

## ▼全体

	機械電子	情報	観光	自動車整備	電気	宝飾・貴金属	農業	その他	総計
大学	54%	61%	52%	23%	32%	27%	66%	62%	59%
短大・専修等	7%	25%	25%	47%	8%	38%	18%	22%	21%
就職	36%	11%	18%	25%	59%	23%	11%	12%	15%
その他	2%	3%	5%	5%	1%	12%	4%	4%	4%
総計	581人	449人	403人	111人	168人	26人	185人	5543人	7466人

## 【高校所在地域別分析】(高校の所在地域別に集計)

### ▼中西部地域

	機械電子	情報	観光	自動車整備	電気	宝飾・貴金属	農業	その他	総計
大学	54%	57%	49%	17%	27%	25%	61%	60%	57%
短大・専修等	8%	27%	28%	51%	8%	40%	21%	24%	23%
就職	36%	13%	18%	26%	64%	25%	12%	12%	16%
その他	2%	3%	6%	6%	1%	10%	5%	4%	4%
総計	425人	336人	301人	84人	118人	20人	145人	4241人	5670人

### ▼富士・東部地域

	機械電子	情報	観光	自動車整備	電気	宝飾・貴金属	農業	その他	総計
大学	54%	72%	64%	41%	44%	33%	85%	69%	67%
短大・専修等	6%	17%	16%	33%	6%	33%	8%	18%	16%
就職	38%	7%	16%	22%	48%	17%	5%	9%	13%
その他	1%	4%	5%	4%	2%	17%	3%	4%	4%
総計	156人	113人	102人	27人	50人	6人	40人	1302人	1796人

## 【県内県外希望別分析】(「問7 高校卒業後の進路として県内と県外のどちらを考えているか」の回答別に集計)

### ▼ぜひ県内が良い、できれば県内が良い

	機械電子	情報	観光	自動車整備	電気	宝飾・貴金属	農業	その他	総計
大学	31%	45%	42%	26%	13%	13%	55%	49%	45%
短大・専修等	9%	36%	24%	26%	7%	47%	20%	29%	27%
就職	59%	17%	30%	38%	78%	27%	18%	19%	25%
その他	1%	2%	4%	10%	2%	13%	6%	3%	3%
総計	232人	143人	118人	42人	89人	15人	83人	1976人	2698人

### ▼どちらでも良い、その他

	機械電子	情報	観光	自動車整備	電気	宝飾・貴金属	農業	その他	総計
大学	54%	60%	50%	14%	46%	25%	67%	62%	59%
短大・専修等	8%	23%	22%	57%	9%	50%	19%	19%	19%
就職	34%	13%	20%	23%	46%	0%	9%	12%	15%
その他	5%	4%	9%	6%	0%	25%	5%	7%	7%
総計	158人	121人	101人	35人	46人	4人	43人	1353人	1861人

### ▼ぜひ県外が良い、できれば県外が良い

	機械電子	情報	観光	自動車整備	電気	宝飾・貴金属	農業	その他	総計
大学	83%	73%	60%	26%	64%	57%	81%	74%	73%
短大・専修等	5%	17%	27%	62%	9%	14%	15%	18%	18%
就職	12%	6%	9%	12%	27%	29%	2%	5%	6%
その他	1%	4%	4%	0%	0%	0%	2%	3%	3%
総計	191人	185人	184人	34人	33人	7人	59人	2214人	2907人

# 観光ビジネス科の求人・就職状況

## ▼求人状況

		H25	H26	H27	H28	H29	平均
企業数	中西部地域	30件	29件	19件	25件	32件	27件
	富士・東部地域	5件	8件	7件	9件	15件	9件
	県外	11件	9件	10件	9件	10件	10件
	総計	46件	46件	36件	43件	57件	46件
人数	中西部地域	41人	35人	49人	42人	49人	43人
	富士・東部地域	11人	16人	10人	26人	52人	23人
	県外	13人	10人	15人	9人	17人	13人
	総計	65人	61人	74人	77人	118人	79人

## ▼就職状況

		H25	H26	H27	H28	H29	平均
企業数	中西部地域	7件	10件	3件	11件	11件	8件
	富士・東部地域	4件	5件	3件	3件	3件	4件
	県外	2件	2件	5件	1件	5件	3件
	総計	13件	17件	11件	15件	19件	15件
人数	中西部地域	9人	11人	4人	14人	12人	10人
	富士・東部地域	4人	6人	5人	3人	4人	4人
	県外	2人	4人	6人	1人	7人	4人
	総計	15人	21人	15人	18人	23人	18人

# 山梨の未来を担う人材育成検討委員会における意見の整理と提言の方向性（案）【継続する部分】

	第1回検討委員会、第1回ワーキンググループにおける委員意見等（○…委員意見、●…データ）			意見のまとめと提言の方向性（案）
	現状	評価・課題	方向性	
<b>継続する部分</b> ※現状の人材育成を継続	<p><b>[全体関連]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在、各機関は全ての学生に対し、必要な知識・技術・技能を習得させ、就職させる人材育成を行っている</li> </ul> <p><b>[産短大(生産技術科・電子技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員充足率が低い</li> <li>●就職率、県内就職率ともにほぼ100%</li> <li>●求人倍率は10倍以上で、都留は20倍を超える</li> </ul> <p><b>[産短大(情報技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員充足率は100%</li> <li>●就職率はほぼ100%、<u>県内就職率が7割程度、関連就職率は8割弱</u></li> <li>●求人倍率は約7倍</li> </ul> <p><b>[産短大(観光ビジネス科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員充足率は100%を超える</li> <li>●就職率はほぼ100%、<u>県内就職率、関連就職率ともに8割弱</u></li> <li>●求人倍率は約4倍（富士・東部地域では増加）</li> </ul> <p><b>[峡南技専(自動車整備科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員充足率はほぼ100%</li> <li>●就職率は100%、<u>県内就職率は9割弱</u></li> </ul> <p><b>[峡南技専(電気システム科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>定員充足率は5割未満で、そのうち1割以上が職歴等のある求職者</u></li> <li>●就職率は100%、<u>県内就職率もほぼ100%</u></li> </ul> <p><b>[宝石美術専門学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員充足率はほぼ100%、<u>県内出身者6割程度</u></li> <li>●就職率はほぼ100%、<u>県内就職率は6割程度</u></li> <li>●求人倍率は約2倍</li> <li>●新卒、既卒、県内外、国外から多様な学生を受け入れている</li> </ul> <p><b>[農業大学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定員充足率はほぼ100%</li> <li>●就職率、<u>県内就職率ともにほぼ100%</u></li> <li>●求人倍率は約1.9倍</li> </ul>	<p><b>[全体関連]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各機関では、今の形態により成果が出ている</li> <li>○就職のための技術を身につけるといふ仕組みは現状で十分</li> <li>○各分野の専門家をつくるのは非常に大切</li> <li>○全ての学生に手に職をつけて就職させるという役割も必要</li> <li>○県内就職率が高い所こそ公が支えることが必要</li> </ul> <p><b>[産短大(生産技術科・電子技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高校卒に比べて定着率が高い</li> <li>●高校生ニーズでは、2年制への希望もあるが、<u>大学進学か就職の希望がほとんど</u></li> </ul> <p><b>[産短大(情報技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4大卒と2年制卒では、人間力、人間の幅、会話の力、ポイントを掴む力が違う</li> <li>●<u>県内には類似の2年制進学先が複数ある</u></li> <li>●<u>高校生ニーズでは4年制への希望が多い</u></li> </ul> <p><b>[産短大(観光ビジネス科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅行業で山梨県に就職するのは現実的に難しい</li> <li>○都留キャンパスへの設置を検討してはどうか</li> <li>●<u>中西部地域では2年制への希望が多いが、富士・東部地域では4年制への希望が多い</u></li> </ul> <p><b>[峡南技専(自動車整備科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若手の整備士が不足している</li> <li>○中小の整備工場では人材確保が特に困難</li> </ul> <p><b>[峡南技専(電気システム科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電気工事士が不足している</li> <li>○電気工事は資格がないと仕事ができない</li> <li>○大卒はあまり電気工事業界に就職しない</li> <li>●<u>高校生の電気関係希望者のうち、峡南技専への進学希望者はほとんどいない</u></li> </ul> <p><b>[宝石美術専門学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ジュエリー業界でも、ものをつくる人が減少</li> <li>○業界に人材を輩出してきた宝石美術専門学校の役割は大きい</li> <li>○アナログ商品は温もりや人間の心が伝わるので、先端技術に代え難い手作りの良さがある</li> </ul> <p><b>[農業大学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業は担い手や後継者の問題が一番大きい、担い手育成の中心的役割を果たす教育機関として評価する</li> <li>○就職後に役立つ勉強や資格取得をさせている</li> <li>●<u>農業関係を希望し、2年制への進学希望者は定員数とほぼ同じ</u></li> <li>○果樹関係の職人的な技術は地域の財産として維持しなければいけない</li> <li>○農業大学校は農業法人に就職できる重要な進路</li> </ul>	<p><b>[全体関連]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○徹底的に基礎的な知識を身につけてほしい</li> <li>○県立の学校や山梨県の産業が活性化することで、その分野に進みたいと考える高校生が増えることは良い</li> </ul> <p><b>[産短大(生産技術科・電子技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現状行っている産短大(機械・電子)の育成は今後必要</li> </ul> <p><b>[産短大(情報技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ニーズ的には、人材が非常に不足しているので業界に進む学生が増えるような形で進めてもらいたい</li> </ul> <p><b>[産短大(観光ビジネス科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光業で基本となるのは語学</li> <li>○観光系の専門学校は専門的になり過ぎており、様々な体験、経験をすることが大事</li> </ul> <p><b>[峡南技専(自動車整備科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○整備士資格の取得を希望する者への実務に繋がる人材育成を期待する</li> </ul> <p><b>[峡南技専(電気システム科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○より多くの学生を集め、電気工事士資格を取得して電気工事業界に就職する者を増やしてほしい</li> </ul> <p><b>[宝石美術専門学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「レジェンド」と呼ばれる高度な技術を持った職人を活用した授業を取り入れることが望ましい</li> <li>○県内の高度な技術者を教育に活かしていくというのは非常に素晴らしい取り組み</li> </ul> <p><b>[農業大学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○就職後の即戦力となるよう、産地の特徴などに精通し、地域の実情を把握している農業技術者の輩出に期待する</li> </ul>	<p><b>★実践的な職業人材の育成を継続</b></p> <p>⇒全ての学生に対し、必要な知識・技術・技能を習得させ、就職させるという、現状実施している教育を継続することを基本としながら、強化していくことが必要</p> <p><b>《意見のまとめ》</b></p> <p><b>[全体関連]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆技術を習得して就職することを目指す現状の人材育成に対する産業界からの評価、ニーズは高く、今後もこの役割を担うことが必要</li> </ul> <p><b>[産短大(生産技術科・電子技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆現状の人材育成の継続は必要</li> <li>☆現状、学生確保が不十分であり、高校生ニーズ等を踏まえた強化が必要</li> </ul> <p><b>[産短大(情報技術科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆現状、学生確保は十分だが、依然としてIT人材は不足しており、高校生ニーズ等を踏まえた検討が必要</li> </ul> <p><b>[産短大(観光ビジネス科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆現状の接客サービスを中心とした現場の即戦力の育成は継続が必要</li> <li>☆都留キャンパスへの設置については、業界ニーズや高校生ニーズを踏まえた検討が必要</li> </ul> <p><b>[峡南技専(自動車整備科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆資格養成機関として、引き続き、県内に実践的な有資格者の供給が必要</li> </ul> <p><b>[峡南技専(電気システム科)]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆資格養成機関として、引き続き、県内に実践的な有資格者の供給が必要</li> <li>☆定員に比べ、高校生ニーズが極端に低いことから、高校生以外の入学者を増やすことについても検討するなど学生確保に対する強化が必要</li> </ul> <p><b>[宝石美術専門学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆先端技術に代え難い、職人の技術・技能の継承を目的とした取り組みは継続が必要</li> <li>☆手に技を付け、就職することを目指す役割は必要</li> </ul> <p><b>[農業大学校]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆企業から期待される役割、高校生のキャリア形成上の役割ともに明確</li> <li>☆業界ニーズ、学生ニーズがマッチした理想の状態であり、現状の人材育成の継続が必要</li> <li>☆農業の実践を踏まえた基礎を学ぶことは今後も重要</li> </ul>

# 山梨の未来を担う人材育成検討委員会における意見の整理と提言の方向性（案）【上に伸ばす部分】

	第1回検討委員会、第1回ワーキンググループにおける委員意見等（○…委員意見、●…データ）			意見のまとめと提言の方向性（案）
	現状	評価・課題	方向性	
<b>上に伸ばす部分</b> ※新たな課題に対応	<p><b>[高度なレベルの教育]</b>            ○既に、中身の濃い教育内容となっており、現状の修学期間の中で、これ以上追加的な教育は難しい            ○山梨では工業系の人材が不足している            ○情報通信業界では、求められる能力はサービスの提案力とより特化した専門性に二極化</p> <p><b>[課題解決・起業家育成]</b>            ○社会的課題に対しソリューションを提供する能力が求められている            ○これからは新しいものを切り拓く人材が必要</p> <p><b>[職業実践力の強化]</b>            ○現場のリアリティあるカリキュラムが必要            ○長期間の企業実習等の特徴とする、実践的な職業教育を行う新たな大学制度が創設された</p> <p><b>[リカレント教育]</b>            ○人生100年時代構想会議において、高等教育の無償化やリカレント教育が議論されている            ○キャリアアップのために学ぶ場が、山梨には少ない</p>	<p><b>[高度なレベルの教育]</b>            ○育成する人材は、技術を高めて就職する学生と、技術を活かして新価値の創造を目指す学生の2つのタイプが存在するが、現状の前者に加えて、後者も育成していく必要がある            ○近い将来、産業を支える高度技術者が不足する            ○機械電子業界では、開発や製造で取引先と話をする人材が高いレベル（レベル人材）に達していないと産業が拡大しない</p> <p><b>[課題解決・起業家育成]</b>            ○学んだ技術をどう使うか考えることが大事            ○課題解決型の教育をどう取り入れていくかがポイント            ○新しい事業への取り組みをサポートしていく体制も大事</p> <p><b>[職業実践力の強化]</b>            ○知識として身につけたものを社会に出てどう活かすか経験する機会を意識的に作るべき            ○各機関に産業界と連携できる組織が必要</p> <p><b>[リカレント教育]</b>            ○就職後もスキルアップできる環境の整備が大事            ○生涯一つの技術で生きていける時代ではない            ○30代、40代、50代がスキルアップする機会についても検討が必要            ○一生学び続けるにあたって、同じことの繰り返しより、新しいことを学ぶことが必要            ○新しい道（分野、職種）に向かっていく形があっても良い</p>	<p><b>[高度なレベルの教育]</b>            ○教育内容を追加するには修学期間の延長が必要            ○4機関の中で上に進みたい人だけを選んで、束ねた形で組織すれば、無理のない形で組織できる            ○自治体として高度技術者を養成することが必要</p> <p><b>[課題解決・起業家育成]</b>            ○身につけた技術で課題を解決する能力は、現状とは別の課程として実施した方が無理のない形            ○起業家を育てるコースを作ってはどうか            ○具体的な課題に取り組み、良いアイデアには予算をつけて実現を支援すると、起業家育成に繋がる</p> <p><b>[職業実践力の強化]</b>            ○授業半分を教員が講義し、残りで企業の実務家が現場での実際の使われ方を講義する形も良い            ○農家の実験圃場の形で、地域農業者との技術的交流など、地域に根ざした形で勉強できると良い            ○現在も行われている農家や農業法人での実習を、例えばドイツのマイスター制度を参考にすることで一層のスキルアップが期待され、実践に強い担い手が育成でき儲かる農業へとつながっていく</p> <p><b>[リカレント教育]</b>            ○女性など、やりたいという意欲のある人を受け入れて1年程度学ぶ場を提供してもらいたい            ○社会に出てからの方が人生は長いので、社会人教育に初級、中級、上級などの体系が必要            ○4年プラス4年という構想で、在学期間だけでなく、卒業後の4年も県がフォローして一流の匠を育てるという仕組みも良い            ○一流を育てるには1万時間を費やすという考え方がある（1万時間の法則）            ○宝石美術専門学校の就職後の技術向上を図る高度技術専門コースについて、他業種の者も対象にした講座の導入など、充実を図る必要がある            ○農業大学校においては卒業後にIoTなどの最前線の技術をフォローできる体制があれば良い</p>	<p><b>★より高度な人材を育成する仕組みの検討</b>            ⇒将来の産業の成長・発展のためには、現状の課程にプラスする形で、より高度な技術者を育成する仕組みを検討することが必要</p> <p><b>＜意見のまとめ＞</b>  <b>[高度なレベルの教育]</b>            ☆将来の産業を支えるためには、他者とのやり取りの中で、課題を発見し、解決策を提供できる高度技術者の育成が必要であり、そうした高度な教育を希望する学生が選択できる進路の整備も必要</p> <p><b>[課題解決・起業家育成]</b>            ☆これからの時代は社会的課題に対し解決策を提供していく能力が求められることから、課題解決型の教育や起業家を育成する教育について検討が必要</p> <p><b>[職業実践力の強化]</b>            ☆実践的な企業等実習など、地域に根ざした学習を導入するため、産業界と連携した人材育成が必要</p> <p><b>★新たな強みを確立する仕組みの検討</b>            ⇒企業におけるOJTをフォローしたり、社会に出てからも学べる環境を整えるなど、様々な形により体系的なキャリアアップを支える仕組みについて検討することが必要</p> <p><b>＜意見のまとめ＞</b>  <b>[リカレント教育]</b>            ☆生涯一つの技術で生きていける時代ではないが、山梨にはキャリアアップのために学ぶ場が少ないことから、キャリアアップの体系を整備するなど社会人教育について強化する取り組みが必要            ☆様々な人が、様々な場所で、様々な形態で学ぶことができる取り組みが必要</p>

# 山梨の未来を担う人材育成検討委員会における意見の整理と提言の方向性（案）【横に広げる部分】

	第1回検討委員会、第1回ワーキンググループにおける委員意見等（○…委員意見、●…データ）			意見のまとめと提言の方向性（案）
	現状	評価・課題	方向性	
<b>横に広げる部分</b> ※新たな分野に対応	<p><b>【人間力・対応力】</b>            ○研究を行う上で、最終的には人間力が重要            ○現在、技術者は高度な専門性と共に、様々な分野の基礎力も求められるようになってきている            ○自分で目標を立て、そこに近づくための方法を任せることで、創意工夫が生まれる</p> <p><b>【ICTへの対応】</b>            ○機械電子業界で、I o Tは実用的な対応力を高める段階            ○情報通信業界をはじめとする情報分野では人材が非常に不足している            ○観光業界においてもIT化が進んでいる            ○自動車業界では、電子技術の強化が重要            ○農業界でI o Tへの対応は農業法人での導入が中心            ○ICTは、今の子ども達はすぐに対応できる</p> <p><b>【海外展開、外国人の受け入れ対応】</b>            ○機械電子業界では外国人の採用意欲がある            ○おもてなしの基本となるのは語学            ○宿泊業界が求めるものは語学が大半を占める            ○ジュエリー業界は海外取引も進んでいる            ○外国人に仕事を教えるツール作りが不足</p> <p><b>【異分野連携・融合】</b>            ○最近では高校でも多面的・多角的に学ぶ時間を増やしている            ○これからは知恵を出し合い課題解決を導く時代            ○会社内では、専門的部分よりもチームとしてやっていく能力の教育に力を入れている</p> <p><b>【新領域進出】</b>            ○ジュエリー業界では、海外展示会出展なども増え、営業人材の需要が増加            ○JAグループやまなしでは、販売力強化のため、システムの一元化を進めている            ○道の駅などで加工品を販売したり、農家レストランを開設するなど、6次産業化に取り組む農業者が増えている</p>	<p><b>【人間力・対応力】</b>            ○自分の強みを発見し、自分のアイデンティティとして認識できるまで向上させることが必要            ○様々な分野の勉強が人間力形成に重要            ○自分の専門以外はその人にとって教養になる</p> <p><b>【ICTへの対応】</b>            ○観光業界でもIT化に対応できる若い人材の需要はある            ○整備資格に加え、新技術に対応できる力が必要            ○I o Tはアイデアさえあればできる            ○情報技術は特殊能力と思われがちだが、1年程度学べば必ず戦力になる</p> <p><b>【海外展開、外国人の受け入れ対応】</b>            ○英会話力が不足している            ○文化と英語に慣れるようにすることは大事            ○海外の考え方を知らないと適切に対応できない            ○地域のことを知らないと外部に発信できない</p> <p><b>【異分野連携・融合】</b>            ○これからは、論理的に説明し、説得する力、納得解を導く力が大事            ○対人関係の形成能力、コミュニケーション能力、感性というものこそ人間の強み            ○違う専門の人間が共働しながら、新しい価値を生み出していく人材育成が求められている            ○チーム力というのは非常に大切            ○機械電子業界では、色々な分野の連携が一つの鍵</p> <p><b>【新領域進出】</b>            ○ジュエリー業界では語学力を持った営業人材の採用が進まない</p>	<p><b>【人間力・対応力】</b>            ○人間力や対応力は共通してカリキュラムに必要            ○自分で勉強し対応していく力を養う視点も必要            ○1年ぐらい語学、プログラミング、歴史など、人間性、基礎力を高める教育が必要            ○教養部分は他機関と連携する視点も良い            ○自分で目標を立て、目標に向かって何をしたら良いのか考える仕組みの導入も有効</p> <p><b>【ICTへの対応】</b>            ○I o Tなど、急速な時代の流れに対応していく方がよい</p> <p><b>【海外展開、外国人の受け入れ対応】</b>            ○実践的な英会話のカリキュラムが必要            ○留学生を受け入れることが刺激になり、グローバル人材を育成する環境となる            ○留学生受け入れのための体制整備が必要            ○地域資源の強みや弱みを理解し、何が魅力になるのかという感性を磨くことも大事</p> <p><b>【異分野連携・融合】</b>            ○各機関を連携させて、チームで課題に取り組んでいくカリキュラムがあっても良い            ○卒業研究の連携した実施なら可能ではないか            ○他業種との学びはジュエリー業界にも良い            ○農業は命を支える産業だから感性が必要で、単位の互換も含め、他機関の学生にも農業大学で農業を学んでもらいたい</p> <p><b>【新領域進出】</b>            ○農業大学校では、加工の基礎とか、販売するところまで踏み込んでみてはどうか            ○農業大学校では、栄養士などの国家資格が取れると良い</p>	<p><b>★幅を広げる人材育成の仕組みの検討</b>            ⇒産業を成長・発展させる技術者には、高度な専門性に加え、幅広い基礎力も求められることから、他の人材育成機関との連携やカリキュラムの新設などにより、幅の広い対応力を備えた人材育成の仕組みを検討することが必要</p> <p><b>《意見のまとめ》</b>  <b>【人間力・対応力】</b>            ☆専門分野に加えて、他の分野の教養を身につけることができる仕組みを整備することで、幅広い経験を積み、高い人間力や対応力の形成を図ることが必要</p> <p><b>【ICTへの対応】</b>            ☆各業界でICT化は確実に進んでいるため、ICT教育を強化していく必要がある</p> <p><b>【海外展開、外国人の受け入れ対応】</b>            ☆各業界においてグローバル化が進んでおり、外国の文化や語学に慣れるとともに、自国や自分の住む地域に対する理解を深めることにより、国際対応力を強化していくことが必要</p> <p><b>【異分野連携・融合】</b>            ☆これからの時代は連携が重要になってくることから、チームで課題に取り組むカリキュラムの検討などにより、コミュニケーション能力など対人関係の形成力を高める必要がある</p> <p><b>【新領域進出】</b>            ☆生産技術に加えて、付加価値の向上を図る6次産業化のように、多様な形で生産性を向上していくことが必要になってきているため、これまで取り組んでいなかったことについても、カリキュラムに加えることが必要</p>

# 山梨の未来を担う人材育成検討委員会における意見の整理と提言の方向性（案）【人を集める部分】

	第1回検討委員会、第1回ワーキンググループにおける委員意見等（○…委員意見、●…データ）			意見のまとめと提言の方向性（案）
	現状	評価・課題	方向性	
<p><b>人を集める部分</b></p> <p>※県外へ進学している学生の受け皿、少子化対策、県外生・留学生の受け入れ</p> <p>※山梨に人を集める、山梨を発展させる</p>	<p><b>[山梨らしさ・総合性]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○工業系であれば専攻科との差別化が必要</li> <li>○18歳人口減少の影響を受け、大学の統合、私学の公立化、国公私を越えた新たな高等教育の枠組み構築といった動きがある</li> <li>○山梨には世界を引っ張るような、時代にマッチした企業が立地している</li> <li>○景観とか農業とかいう部分が山梨らしさとして多くの学生や県民に受け入れられている</li> </ul> <p><b>[高校生ニーズ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よく知らないとその学校に行くと大丈夫か不安</li> <li>○親としては2年制より4年制</li> <li>○理工系は、山梨大学に入れない場合は県外の大学しか選択肢がない</li> <li>○峡北地域から産業技術短期大学校は遠い</li> <li>○どうせ親元を離れるなら東京という選択が多い</li> <li>○専門学校には、希望する会社の就職に繋がることが最も望まれる</li> <li>○甲府工業専攻科では大学編入もできるように制度設計している</li> <li>○高校からは希望の就職ができるが、進学するとできない場合がある</li> <li>○工業系では就職する生徒がほとんど</li> <li>○電気系を希望する生徒は大学に進学している</li> </ul> <p><b>[留学生・県外生]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機械電子業界では優秀な外国人に対する採用意欲がある</li> <li>○ジュエリー業界では今後、意欲ある留学生の採用も必要性を感じている</li> </ul>	<p><b>[山梨らしさ・総合性]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生まれた時から切れ目がないトータルなシステムとして人材育成を考えて、どういう役割を担っていくか考える必要がある</li> <li>○学校教育だけで人が育つわけではなく、教育現場と産業界とが連携する中で育つ</li> <li>○山梨だからできる教育の打ち出しが必要</li> <li>○農業、観光は山梨らしさを活かすためには重要</li> <li>○再編すべきは再編するなど手を打つ必要がある</li> <li>○より特化した人材政策が必要</li> <li>○将来の社会にマッチした形で機関の再編が必要</li> <li>○国で高等教育無償化の議論がされていることから、競争力という面で県でも検討が必要</li> </ul> <p><b>[高校生ニーズ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成には入学者をどう確保するか、どういう育成をするか、就職をどう実現していくかという3つの視点が必要</li> <li>○学生と保護者の認知度の向上が必要</li> <li>○機械電子系は、高校生調査で6割以上が大学進学を希望していることを考えると、県としてより高度な技術者を養成するという方向の検討が必要</li> <li>○学ぶ側は、優秀な先生と素晴らしいカリキュラムを求める</li> <li>○今の若者が何を望んでいるか知る必要がある</li> <li>○人材育成の改革時には、教育の質保証と多様性の尊重の2点に力点をおいた設計が必要</li> </ul> <p><b>[留学生・県外生]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○留学生の受け入れも良い</li> <li>○県外の学生を取り込む方向性を持つと良い</li> <li>○学生については県外生や外国人など、様々な層を考えるべき</li> </ul>	<p><b>[山梨らしさ・総合性]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会と連携して、切れ目のない一貫した形の人材育成を検討することが必要</li> <li>○どんな仕事に就こうが農業に触れる機会が必要</li> <li>○教育プログラムとしてつくと時代の変化に対応しやすい</li> <li>○大学にはできないカリキュラムをつくるため、専門学校という形態を選ぶのも良い</li> <li>○理系や文系の分けに囚われない、山梨の産業で共通して身につけるべき能力を、どの機関にいても学べるようにした方が良い</li> <li>○経済的な優遇の検討など、どのような人材を必要としているかメッセージの打ち出しが必要</li> <li>○学費の後払いや県内就職した者は免除するなど県としての仕組みを考えていく必要がある</li> </ul> <p><b>[高校生ニーズ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内にもう少し、理工系の4年制大学などがあると良い</li> <li>○県内進学を希望しながら、県外に進学している学生の受け皿という役割は考慮に入れるべき</li> <li>○農業法人での就職に有益な施設園芸の技術修得を強化するための高度環境制御ハウスの整備や、6次産業化を見据えた食品加工、また、地域活性化を学べるカリキュラムも必要</li> </ul> <p><b>[留学生・県外生]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○専門学校という形だとしても、2年学んで大学に編入できるシステムがあれば留学生も集まる</li> <li>○県外から入学した学生を大事にすることが必要</li> </ul>	<p><b>★山梨に人が集まり、発展につながる仕組みの検討</b></p> <p>⇒人材育成は、幼児期、就学期、成年期、高齢期といった縦軸と、国公私、学校種、地域といった横軸を踏まえる中で、どういった役割を担うかを考える必要がある</p> <p>⇒県立の人材育成機関には、県内産業の発展に繋がる人材育成が期待されることから、性別、年齢、県内外、海外を問わず、様々な学生が集まり、県内への就職に繋がるよう、山梨だからこそできる独自性のある仕組みの検討が必要である</p> <p><b>《意見のまとめ》</b></p> <p><b>[山梨らしさ・総合性]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆人材育成は、学校等を卒業後も、継続して行っていく必要がある</li> <li>☆少子化が進む中、選ばれる人材育成機関となるためには、機械電子、観光、宝飾、農業といった本県の産業的特徴を踏まえるなど山梨らしい教育を行っていく必要がある</li> </ul> <p><b>[高校生ニーズ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆理工系を希望する高校生の5割以上が大学進学を希望しているとともに、県内に理工系の4年制進学先が増えることを期待する声も多いことを踏まえた検討が必要である</li> <li>☆農業大学校は、食品加工、6次産業化の授業に対応した施設整備が必要であり、これにより女子学生の割合が更に増加することが想定されるため、女性が学びやすく快適に過ごせるよう時代に即した学習環境の整備が併せて必要である</li> </ul> <p><b>[留学生・県外生]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆山梨を活性化していくという点からは、県内の高校生の進学先としてだけでなく、県外や国外からも学生を集め、県内に就職してもらおうという方向性も重要であり、留学生や県外生のニーズを踏まえた教育システムについて検討していくことも必要である</li> </ul>